

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科で、大腿骨転子部骨折手術を受けられた患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

大腿骨転子部骨折術後における座位・臥位 Budin 撮影と CT 撮影での大腿骨頸部前捻角の比較

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 副院長 平中 崇文

3. 研究の目的

大腿骨転子部骨折手術において、術後の大腿骨頸部前捻角は重要な因子の一つです。これまでにその評価方法として CT 検査が用いられてきました。しかし、単純 X 線写真での座位または臥位 Budin 撮影のみで大腿骨頸部前捻角を評価できる可能性があり、その正確性が示された場合、より簡便に低コストで前捻角評価ができ、術後成績の向上に期待が持たれると考えられます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

大腿骨転子部骨折の患者さんで、2009年4月1日から2020年3月31日までの期間中に、髄内釘による観血的骨接合術を受けられた患者さん。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、カルテ情報、手術前および手術後の膝関節の撮影写真に関する情報、手術中の前十字靭帯の所見です。

(3) 方法

大腿骨転子部骨折術後の単純 X 線写真での座位・臥位 Budin 撮影と CT 撮影での頸部前捻角を測定比較し、その傾向を調べます。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院整形外科 担当医師 平中 崇文

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-MAIL : takafumi.hiranaka@gmail.com